

令和3年2月18日

令和3年度 香南市『人・農地プラン』検討委員会議事録

■ 日時：令和4年2月18日（金）13：30～14：25

■ 場所：香南市役所 6階（604・605会議室）

■ 出席者：委員12名

小松靖生、加藤明、西村尚、矢野広章、日和崎一弘、立仙裕二、
谷間久昭、松村一恵、高橋牧子、百田朋世、溝渕洋介、北節子
（検討委員会の名簿順）

事務局（農林水産課）4名

小松大洋、久武正和、松岡修司、松木克彦

■ 議案：

1. 『人・農地プラン』令和3年度活動報告
2. 令和4年度活動計画（案）説明
3. 香南市の担い手状況説明
4. 次期検討委員の依頼及び任期変更

■ 委員会開催要件の確認：

検討委員18名中12名の出席により当委員会の開催要件（委員定数の過半数以上の出席）を満たしていることを確認した。

■ 概要：

①令和3年度の『人・農地プラン』活動概況の報告

- ・事務局（農林水産課：松木）より事前に送付済みの資料「令和3年度の活動レビュー」に基づき説明した。
- ・質疑なし

②令和4年度の『人・農地プラン』活動計画の説明

- ・事務局（農林水産課：松木）より事前に送付済みの資料「令和4年度の活動計画(案)」に基づき説明した。
- ・質疑

【加藤委員】集積率65%は達成の方向に向かっていると思う。そうした流れの中で大規模農家に対する補助金や支援がある一方で、小規模農家は農業経営の採算が悪いにも関わらず、地域の畦や水路を守る役割を担ってくれている。小規模農家を切り捨てていくことのない施策を検討して頂きたい。

→小松会長：画一的な施策から、より地域の声を拾い、その特性を踏まえた施策に繋

げていく仕組みづくりが「人・農地プラン」である。このため、委員の皆様も引き続き各地区の活動中での取り組みにご協力をお願いします。

【松村委員】資料 P6 の中で③-1「新規就農呼び掛け/支援」への取り組みがあるが、チェックの入っていない地区も対象として頂きたい。

→小松会長：チェックの入っていない地区への取り組みを行わないということではなく、市全域を対象に取り組んでいく。

③香南市の担い手の状況説明

・事務局（農林水産課：松岡）より当日配布資料「令和3年度の担い手の推移」に基づき説明した。

・質疑

【加藤委員】勤め先の定年後に、親を継いで就農する方もいる。そういった方はこの数字には反映されていないと思うので、今後、担い手として認定し支援できたら良い。

→事務局（松岡）：担い手として地区の農業を守っていく方々になるので、人・農地プランに位置付けるよう図っていく。

【溝渕委員】新規就農者は初期投資（機械等設備投資含む）のため費用負担が大きく、借入額も多くなるのが現状。廃業、離農される方もいるので、そういった方から設備を譲り受けられることができれば助かる。しかし、そういう情報は個人にはなかなか集まらない。情報収集に協力をお願いしたい。

→小松会長：離農された方でも、他の人には貸さない、地区外の方には貸さないという方もおり、情報があっても貸借に至らない現状もある。そういった課題解消は必要なので、今後も協力をお願いします。

④次期の人・農地プラン検討委員の依頼及び任期変更について

・小松会長より、「香南市人・農地プラン検討委員会設置条例」第5条第2項に基づき次期検討委員会副会長に日和崎委員を指名した。

・令和4年度の委員（案）を提示した。香南市農業委員会からは、次期検討委員として石丸委員・三浦委員の推薦を受けている旨を説明した。

・委員の任期について、現状では委嘱直後に所属機関の人事異動等で委員が変更となり、再委嘱となるケースもあった。人・農地プランに基づく活動も年度毎で計画し、実施していることから、任期を年度区切り（令和4年4月1日～令和5年3月31日）への変更する旨を小松会長より提案した。

→全員から異議なく、承認を得た。次期の委員には、事務局より4月以降に委嘱状を送付する。

以上